

黒潮町消防団夏季訓練！

6月21日、上川口の県立幡多青少年の家を会場に、消防団の夏季訓練が行われました。

今回の訓練は、新入団員への基礎訓練や中継放水訓練、AEDを使用した心肺蘇生法訓練を行いました。

新入団員は基本動作を訓練した後、消防署員の指導を受けながら、先輩団員と共に消防ポンプを操作して実際に放水訓練をするなど、団員としての初めての訓練に汗を流しました。



応用中継放水訓練に励む消防団員



また、女性消防隊メンバーも参加し、消防団員同様に可搬ポンプでの放水訓練を行うなど、盛大な訓練を行うことができ、これからの黒潮町の防災体制の充実が期待されるものとなりました。



女性防火クラブによる消火訓練

この他に、今回の夏季訓練では、S-KYIT訓練という危険予知訓練を行いました。

消防活動の災害現場には、目に見える危険だけでなくさまざまな危険が潜んでいます。

公務災害を防ぐには災害現場に潜む危険を見抜く力が必要であり、基本を外れた省略行為が事故や災害をもたらします。

この訓練は、そのような災害現場で適切な対応がで

きるようにする日常の訓練で、消防団員は一班6名のチームとなり、活動の場面を描いたイラストシートをもとに最も重要と思われる危険ポイントを出し合いながら、最優先で必ず実行する対策を絞り込むなどして、一人ひとりの危険に対する感受性を高めていきました。



実際に起こった公務災害などの講話を受け、班で現場での危険箇所を出し合う消防団員たち。

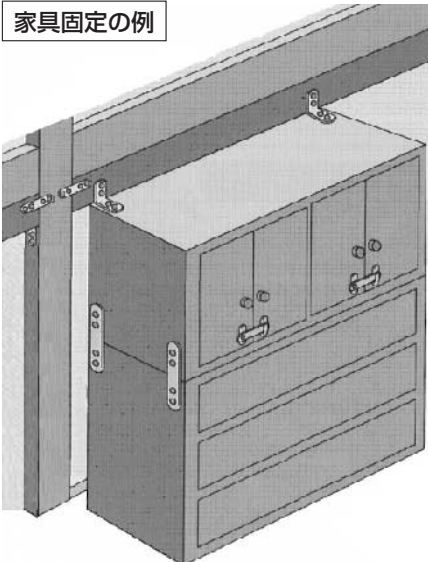
消防団では、このように

訓練を重ね、火災はもとよりのことからシーズンとなる台風などの風水害、さらには、来たるべき南海地震に備え、地域の防災リーダーとして、ますます頼れる存在となっています。

～家具転倒防止等対策費補助金のご案内～

地震発生時における家具の転倒やガラスの飛散による被害を軽減するための対策を実施する方に、補助金を交付します。

- **対象者**
 - ・町内に住所を有する方です。
- **補助対象経費**
 - ・自ら居住または所有する住宅の家具の転倒を防止するための器具およびガラス飛散防止フィルムの購入費ならびにこれらの設置に必要な費用です。
 - ・借家などは、住宅の所有者や管理者の承認を必要とします。
- **補助金の額**
 - ・実施する費用の1/2(ただし、100円未満の端数を切り捨てた額)で、上限は10,000円です。
 - ※申請は1世帯1回限りとします。
- **受付開始時期など**
 - ・8月から受け付けを始めます。(先着順に30件実施予定)



家具固定の例